

特集 平成26年の家計消費の概要（家計調査年報より）

長崎県県民生活部統計課

家計調査は、全国168市町村で、標本調査の方法に基づき抽出された約9,000世帯を対象に、毎日の収入と支出を家計簿に記入していただくことによって、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにするための調査で、昭和21年から実施されている。

本県においても、長崎市（104世帯）、佐世保市（39世帯）、平戸市（13世帯）が調査地域として総務省より指定されている。

調査結果は、我が国の景気動向の把握、生活保護基準の検討、消費者物価指数の品目選定及びウエイト作成などの基礎資料として利用されているほか、地方公共団体、民間の会社、研究所あるいは労働組合などでも幅広く利用されている。

「平成26年家計調査年報」にて公表された、県庁所在市である長崎市の家計消費（二人以上の勤労者世帯）の概要は以下のとおりである。

1. 家計の収入と支出

平成26年の長崎市の勤労者世帯（いわゆるサラリーマン世帯）の実収入（1か月の平均値：以下各項目同じ）は435,732円で、前年に比べ名目8.7%、実質11.3%の減少となった。また、消費支出は309,296円で、名目0.4%の増加、実質2.5%の減少となった。

全国の勤労者世帯の実収入は519,761円で、前年に比べ名目0.7%、実質3.9%の減少となった。また、消費支出は318,755円で、名目0.1%、実質3.3%の減少となった。

| 勤 労 者 世 帯 | 長 崎 市 | 全 国 |
|-----------|----------|----------|
| 集計世帯数 | 41世帯 | 3,930世帯 |
| 世帯人員 | 3.20人 | 3.40人 |
| 有業人員 | 1.60人 | 1.67人 |
| 世帯主の年齢 | 47.5歳 | 48.1歳 |
| 実収入 | 435,732円 | 519,761円 |
| 名目増減率 | 8.7% | 0.7% |
| 実質増減率 | 11.3% | 3.9% |
| 消費支出 | 309,296円 | 318,755円 |
| 名目増減率 | 0.4% | 0.1% |
| 実質増減率 | 2.5% | 3.3% |
| 可処分所得 | 358,973円 | 423,541円 |
| 名目増減率 | 8.4% | 0.6% |
| 実質増減率 | 11.0% | 3.8% |

注）長崎市においては調査世帯が少なく、結果が大きく変動することがあります。

実収入：ボーナス等も含めた年間の収入を12か月で割った1か月当たりの平均値

消費支出：食料、住居、光熱費等、いわゆる生活費

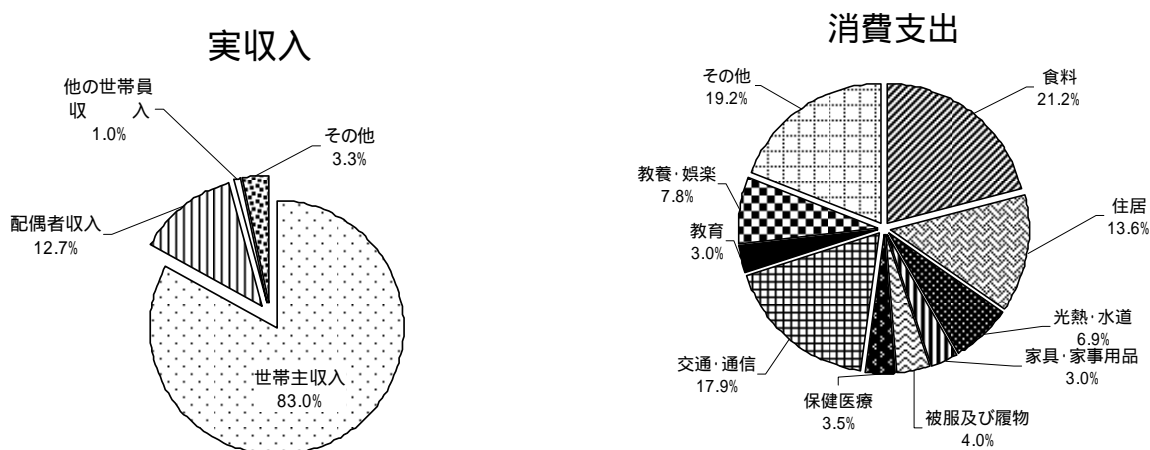
可処分所得：実収入から税金、社会保険料等の非消費支出を引いた、いわゆる手取り収入

名目増減率：実際に支出した金額の伸び

実質増減率：消費者物価の変動分を除いた支出金額の実質的な伸び

（実質増加率 = $(100 + \text{名目増減率}) \div (100 + \text{消費者物価増減率}) \times 100 - 100$ ）

勤労者世帯の実収入と消費支出の内訳（長崎市）



実収入（1ヶ月の平均収入）の推移（全国、長崎市）

（単位：円）

| | 平成 16 年 | 平成 22 年 | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全国 | 531,690 | 520,692 | 510,117 | 518,506 | 523,589 | 519,761 |
| 長崎市 | 415,179 | 549,770 | 408,140 | 403,123 | 477,193 | 435,732 |

平成 26 年の長崎市の実収入は、平成 16 年と比較すると 5.0%増加している。

勤労者世帯 10 大費目消費支出の推移（長崎市）

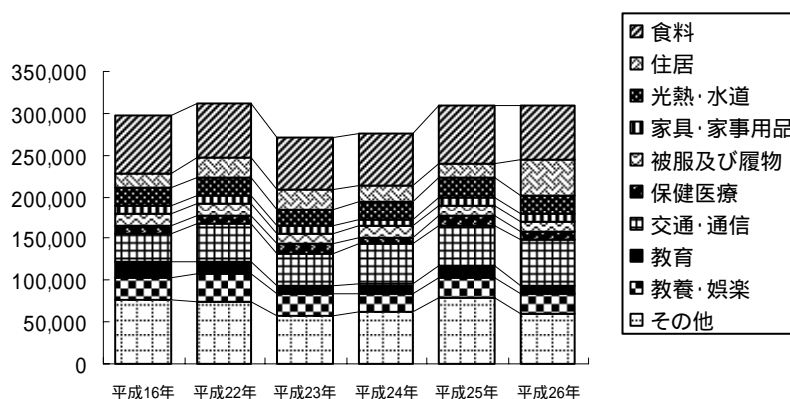
（単位：円）

| | 平成 16 年 | 平成 22 年 | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 食料 | 68,282 | 63,706 | 63,077 | 61,276 | 68,515 | 65,525 |
| 住居 | 17,397 | 24,520 | 23,115 | 20,417 | 17,712 | 42,067 |
| 光熱・水道 | 22,085 | 22,865 | 20,611 | 21,483 | 22,726 | 21,231 |
| 家具・家事用品 | 9,940 | 9,067 | 9,189 | 7,761 | 9,175 | 9,296 |
| 被服及び履物 | 13,929 | 13,947 | 11,739 | 12,662 | 13,127 | 12,340 |
| 保健医療 | 8,369 | 9,976 | 11,598 | 9,017 | 11,027 | 10,774 |
| 交通・通信 | 33,569 | 44,045 | 38,450 | 46,900 | 47,818 | 55,333 |
| 教育 | 20,125 | 16,582 | 10,196 | 13,009 | 14,194 | 9,203 |
| 教養・娯楽 | 27,132 | 33,572 | 25,127 | 21,457 | 24,328 | 24,052 |
| その他 | 76,081 | 73,271 | 57,956 | 61,332 | 79,525 | 59,474 |
| 消費支出計 | 296,909 | 311,550 | 271,058 | 275,314 | 308,147 | 309,296 |

住居は、平成 16 年と比較すると 141.8%増加。

要因としては、平成 26 年 4 月の消費税増税前までに、住居建築のための設備材料や、節電対策によるソーラーパネルの設置等で増加したためと考えられる。

（円）



2. 家計調査にみる品目別ランキング

我が国は、南北に長い国土を持つため、気候や文化、生活環境の違いなどから、家計消費の内容にも地方の特徴がみられる。

しかし、一方では、情報化の進展や物流機能の発達に伴い、全国的に都市化が進み、国民の生活様式の地域差は小さくなり、消費生活の均質化が進んでいるとも言われている。

そこで、「家計調査にみる品目別支出金額及び購入数量の都道府県庁所在市別ランキング（平成26年）」（川崎市、浜松市、堺市、北九州市を含む）から、長崎市の支出金額や購入数量について、特徴的な品目を取りあげてみた。（金額と数量はともに、その計数をすべての調査世帯数で除し、1世帯あたりが支出する「平均価格」を求めている。）

全国第1位

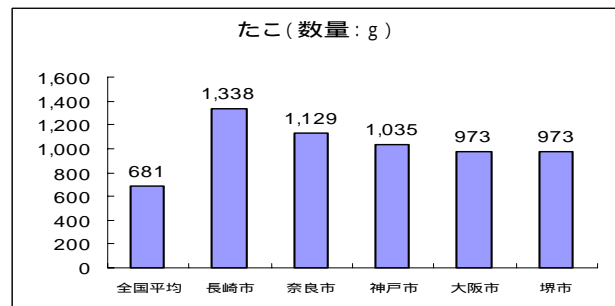
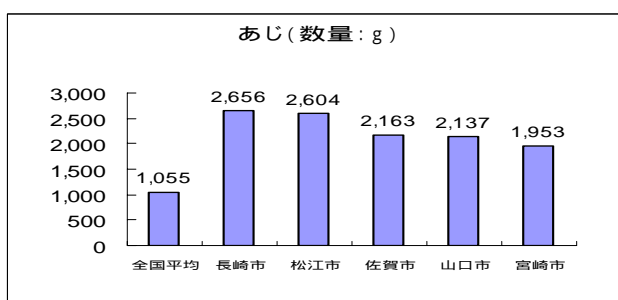
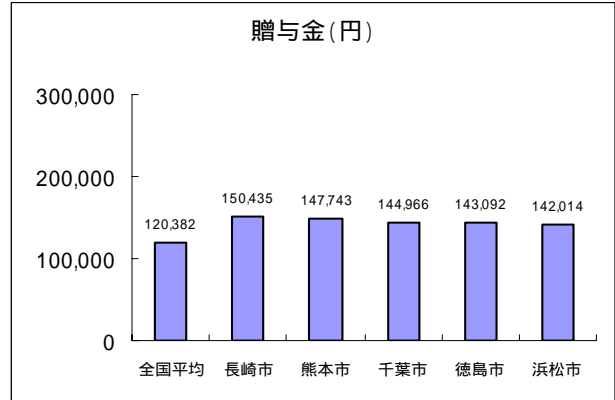
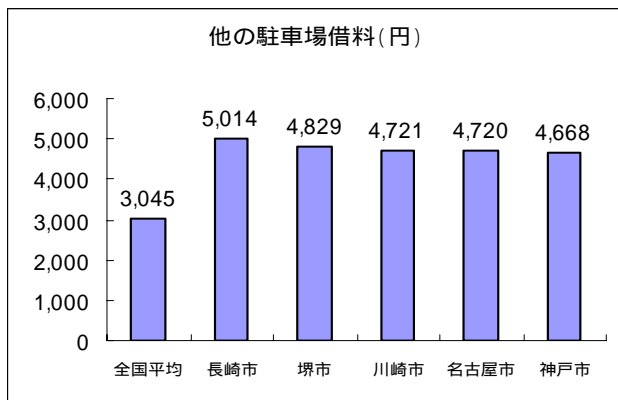
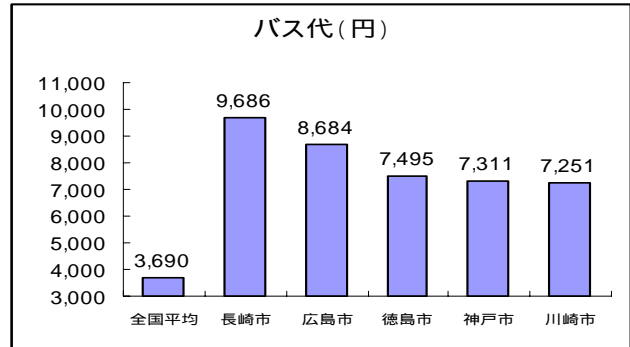
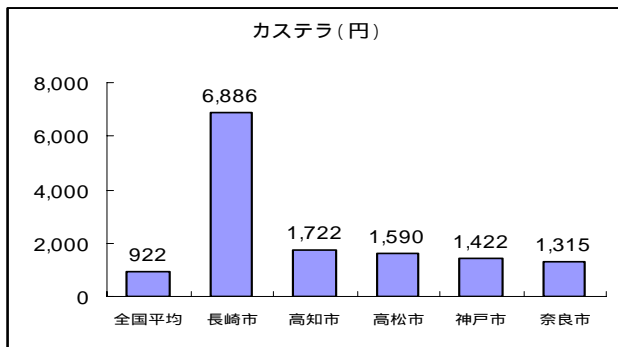
カステラ（購入金額）、バス代（乗車金額）、贈与金（贈与金額）、他の駐車場借料（借料金額）、あじ（数量）、たこ（数量）

- ・カステラは長崎を代表する銘菓であり、贈答品としての需要が高い。

昨年と同様に他県を大きく引き離し、全国一の支出額となっている。平成26年の購入金額は、6,886円で、全国平均922円の約7倍であった。

なお、バス代や駐車場代（年極・月極を除く）も全国一の支出額となっており、長崎市の地形的な特異性（坂道、階段が多い）で公共交通機関や自動車を利用する頻度が高いものと思われる。

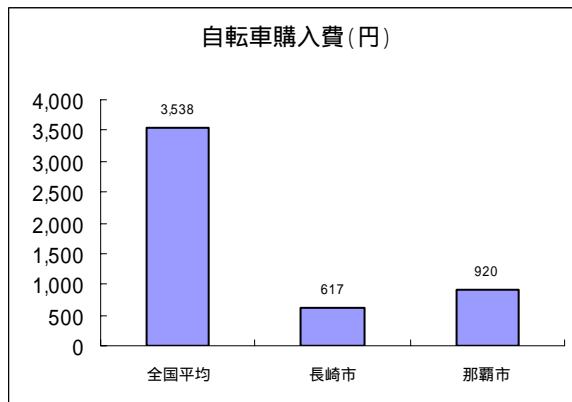
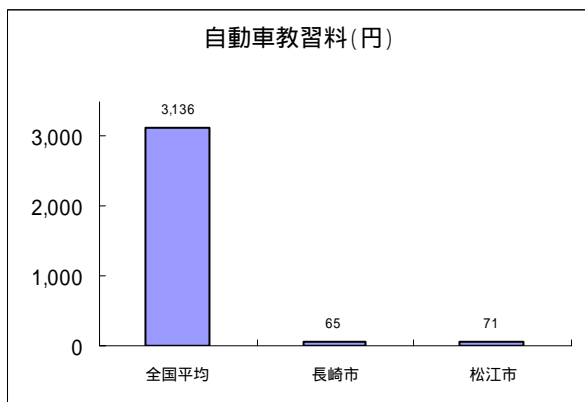
なお、自動車教習料は全国最下位となっている。



全国第2位

あじ(購入金額)、いわし(購入金額)、魚肉練製品(購入金額)、かまぼこ(購入金額)、さしみ盛り合わせ(購入数量)、いちご(購入数量)

全国最下位の品目は、読書(購入金額)、自転車購入、サラダ(購入金額)、コーヒー飲料(購入金額)、一般家具(購入金額)、インターネット接続料、ハンバーガー(購入金額)、教育、自動車教習料



長崎市の自転車の購入費は例年全国で低く、長崎市の地形的(坂道が多い)な事も影響している。

3.平成26年の家計をめぐる主な出来事

| | |
|-----|--|
| 1月 | 「NISA(ニーサ)」「個人投資家向けの小額投資非課税制度」がスタート |
| 2月 | 関東甲信で記録的大雪、都心は27センチ、甲府は100センチの積雪 |
| 3月 | 介護保険第2号保険料率の引上げ |
| 4月 | 消費税率の5%から8%への引上げ 年金支給額の引下げ 国民年金保険料の引上げ 総務省が、日本の総人口の4人に1人が65歳以上(2013年10月現在)と発表 |
| 6月 | 個人住民税に復興特別税が加算 F I F Aワールドカップ2014開催 富岡製糸場と絹産業遺産群が世界文化遺産に登録 |
| 7月 | 中国の期限切れ鶏肉問題が発覚し、ハンバーガー店等の売りに影響 |
| 8月 | 「平成26年8月豪雨」が発生。広島県広島市で大規模な土砂災害 デング熱の国内感染者が69年ぶりに確認される |
| 9月 | 厚生年金保険料率の引上げ 御嶽山が7年ぶりに噴火。1991年雲仙普賢岳の火砕流による犠牲者数を上回る |
| 10月 | 日本銀行が追加の金融緩和策を決定、それを受けて株高・円安が進行 |
| 11月 | GDPの速報値は4-6月期、7-9月期と2期連続してマイナス |
| 12月 | 消費税率引上げ先送りに関連し、衆議院を解散(11月21日)、総選挙 |

「家計調査にみる品目別、都道府県庁所在市別ランキング」は家計調査で得られたデータを基に、総務省統計局が毎年集計しています。

家計調査の品目分類で集計している約500品目が対象となっています。
ランキングをまとめた冊子は、長崎県県民生活部統計課で閲覧することができます。
また、総務省統計局のホームページでも一部ご覧いただけます。

「統計局 都道府県庁所在市ランキング」で検索してください。